



# 営農NEWS



## レタスに県内で初めてレタス黒根病（仮称） の発生が確認されました

発生に注意し、対策に努めてください

### 病害虫発生予察特殊報第 2 号（平成 31 年 1 月 31 日 県病害虫 防除所発表） によりますと

平成 30 年 10 月に、県西地域の露地レタス圃場において、レタス根腐病とは異なる根部の褐変症状と、生育不良の症状が確認され、千葉大学大学院園芸学研究科に同定を依頼した結果、*Thielaviopsis basicola* が分離され、本県では未発生のレタス黒根病（仮称）であることが確認されました。

レタス黒根病（仮称）の発生は、群馬県において初めて確認され、平成 30 年 5 月に特殊報が発表されています。その後、同年 11 月に静岡県および長野県で特殊報が発表されています。

#### <病徴>

本病は、地上部では外葉の黄化、生育遅延などが認められ、症状が進むと結球しないなどの生育不良となります。根部の症状は、根の一部が帯状に黒変、隆起して根表面に亀裂を生じます。病徴が進行すると、根全体が黒変し、細根が腐敗脱落します。

#### <病原菌の特徴と発生生態>

病原菌は、糸状菌の一種で土壌伝染します。罹病部に分生子や厚膜胞子を形成し、罹病残渣とともに土壌中に残留して次作の伝染源になります。なお、厚膜胞子は土壌中に長期間生存することが可能です。本菌に対しては、品種間で発病程度に差異のあることが示唆されています。また、*Thielaviopsis* 菌による病害は、ナス科、マメ科、セリ科、アオイ科作物など広範囲な植物で報告があります。

#### <防除対策>

- 1 現時点では、本病に対する登録農薬は有りません。
- 2 連作により土壌中の病原菌密度が高まるため、過度な連作を避けます。
- 3 本病の発生が確認された圃場での作業は最後になるよう計画し、作業終了時には、トラクターなどの農器具類、長靴等汚染土壌が付着している可能性があるものについては、ていねいに洗浄して、他の圃場に拡散しないようにします。また、明渠を設置するなどして雨による土壌の流出、流入を防止します。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040